

1. 概要

県北の山間に位置する一戸町は面積約300平方キロ、大部分が森林や高原の緑豊かな、人口1万7千人程の町です。

この4月には大規模な縄文中期の配石墓群と集落跡が見つかった御所野遺跡が、博物館とともに御所野縄文公園として盛大にオープンし、県内はもとより全国の考古学ファンが訪れ大変賑わっています。

2. 図書館のはじまり

以前は中央公民館図書室として、狭いスペースで蔵書冊数も限られ、専任の職員もいない状況でしたが、町民の間からは図書館を待望する声が出ていました。しかし、厳しい財政事情もあり、改修を行い利用しやすく整備を進めようかという矢先、林野庁からの補助を利用した施設の一部に図書館をという話が急速持ち上がり、図書館設置にむけて動き出しました。そして7月16日（火）に新しい図書館がオープンしました。

3. 紹介

新図書館の面積はおよそ600平方メートル、蔵書可能冊数約7万冊、開館時蔵書約3万5千冊でスタートし、移動図書館「そよかぜ号」と合わせ広大な町の全域への図書館サービス網の拠点となるような施設となっています。

また、光回線でのインターネット利用端末を5台設置するほか、インターネットから図書の予約や、蔵書検索

ができるシステムを構築し、情報化社会の図書館サービスを行えるよう推進しています。



しかし、まだ生まれたての図書館ですので、幅広い蔵書構成には遠く、レファレンスについても資料・技術ともに蓄積がありません。視聴覚資料やスタッフの数も少ない等々、課題も多く抱え多難なスタートとなってしまいましたが、新しく、木をふんだんに使った施設を気分よく利用していただき、町民から愛されるような図書館となるようスタッフ一同職務に励んでおります。皆様も一戸にお越しの際は、木のぬくもりを感じる図書館へ是非お立ち寄り下さい。

<http://lib.town.ichinohe.iwate.jp>

ライブラリートーク

《奥州藤原文化研究とその書誌》

奥州藤原文化研究の現状と、その書誌についての情報を提供し、同文化の理解を深めます。

◇回数：毎月1回、年12回

◇講師：相原康二（岩手県立図書館長）

◇会場：県立図書館 集会室

◇時間：午後5時30分～午後7時

◇その他：事前の申し込みは不要です。

《巡回 郷土資料読み解き講座》

菅江真澄の「けふのせはのの」を素材に、真澄の足跡をたどり、現代文に訳し、地名、神社、お寺の由来、民俗行事等について調査・検討して読み解きます。

◇回数：毎月1回、年12回

◇講師：相原康二（岩手県立図書館長）

◇会場：一戸町立図書館

◇時間：午後1時30分～午後3時

◇その他：巡回講座への参加は事前に申し込みが必要となります。



第4回 郷土資料読み解き講座
会場：一戸町立図書館